

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所うえるずらいふ大手 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント (原文ママ)	外部評価 コメント (原文ママ)
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>									
<b>(1) 理念の明確化</b>									
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「ご利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている			●		<p>■事業所理念 「家庭を思わせる居心地の良さ」と「24 時間 365 日」安心・安全な生活を目指し、地域に貢献します。</p> <p>■会社として、経営理念、基本理念、行動理念が掲げられており、個人がいつでも振り返って確認できるように冊子として持っている。</p> <p>■事業所独自の理念は、「安心・安全に生活して頂く」と考え、「イキルをタノシク」を基本理念としている。</p>	<p>■経営理念・基本理念・行動理念を掲げ、冊子として個人が持つことで自覚もさらに深まると思う。</p> <p>■専門外の私ゆえに的確なコメント記述ができません。ひとこと記しておきます。</p> <p>①アセスメントに基づくプラン～マネジメントの円滑な表現</p>	
<b>(2) 適切な人材の育成</b>									
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴及び事業所の理念について、その内容を十分に認識している			●		<p>・事業所理念に基づき行動を行っている。</p> <p>・個々により差はあるが、少なくとも会社の経営理念は把握している。</p> <p>・経営計画書の研修え、説</p>		

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価 コメント (原文ママ)	
			実施状況						コメント (原文ママ)
			5	4	3	2	1		
							明があり、各自配布されているので、不明時はすぐに確認できる。		
	3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレータの判断能力等）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、研修が実地され、外部研修にも積極的に参加させてくれる。</li> <li>・月に一回、事業所内研修を計画的に行っている。</li> <li>・社外の研修に参加した時は、その都度、伝達講習を行っている。</li> <li>・研修紹介や社内研修は出来ているが、専門技術の向上のための育成は不十分のように感じる。</li> </ul>		
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・シフト作成においては気掛けている。</li> <li>・特定の勤務体制ではないので能力が発揮されると思う。</li> </ul>		
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、ご利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が十分に確保されている			●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りノートや日誌等で共有できるようにしている。</li> <li>・介護、看護の日誌を読んで情報共有している。</li> <li>・事業所が別棟になった</li> </ul>		

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント (原文ママ)	外部評価 コメント (原文ママ)
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								<p>ことで情報共有の機会は減っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護詰所がレストラン出入口にあるので共有する機会はあるが、申し送りがなくなったので十分ではない。</li> </ul>	
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>									
組織マネジメントの取り組み	6	ご利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている		●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の要望に応じる様にシフト作りを行っている。</li> <li>・御利用者やご家族の要望に出来るだけ応えた配置になっていると思う。</li> </ul>	
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている				●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録を作成し、全スタッフに周知している。</li> <li>・まだまだ参加者のみの把握にとどまっている。スタッフにゆとりがあれば、書記として参加させてはどうか。</li> <li>・認識不足もあり、要望・助言があまり反映されていないように感じる。</li> </ul>		
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>									
ご利用者等の状況に係	8	ご利用者等の状況について、(個人情報管理に		●				・関係機関との情報共有	

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価 コメント (原文ママ)	
			実施状況						コメント (原文ママ)
			5	4	3	2	1		
情報の随時更新・共有のための環境整備		配慮した上で) 必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている					<p>は出来ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者に変化があれば関係機関と情報共有できるよう速やかに連携している。そのために普段でも情報共有できるようコミュニケーションを取っている。</li> <li>・日頃から情報を共有し、良好な人間関係を心がけている。</li> </ul>		
<b>(5) 安全管理の徹底</b>									
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）			●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を受けている。又、防犯ブザーを各個人が携帯している。</li> <li>・夜間訪問時の防犯対策として、スタッフ全員に防犯ブザーを配布している。</li> <li>・懐中電灯・防犯ブザーが配布されている。</li> <li>・緊急時対応連絡図が掲示されており、各自にも配布されている。</li> </ul>		
ご利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、ご利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な	●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵付きキャビネットにて保管している。</li> </ul>		

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価 コメント (原文ママ)	
			実施状況						コメント (原文ママ)
			5	4	3	2	1		
		工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている						<ul style="list-style-type: none"> <li>鍵付きの棚に保管している。</li> <li>施錠付キャビネットに保管し、個人別にファイルされている。職員は必要時に見ることができる。</li> </ul>	
<b>II 過程評価 (Process)</b>									
<b>1. ご利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(1) ご利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>									
ご利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	ご利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		●				<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネジャーからの計画により、ご利用のペースを崩さないように工夫している。又、変更等必要な時は、ケアマネジャーに相談し、サービスの変更をお願いしている。</li> <li>ケアマネジャー作成の計画書を基に支援を行っている。</li> </ul>	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている			●			<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いに情報を共有し、アセスメントを行っている。</li> <li>介護、看護で相談しながらアセスメントが行われており、今後も密に連携</li> </ul>	

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント (原文ママ)	外部評価 コメント (原文ママ)
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
ご利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	ご利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている			●			<ul style="list-style-type: none"> <li>しながらアセスメントをとっていく。</li> <li>適切に実施されていると思うが、共有・突き合わせ等はあまりできていない。</li> </ul>	
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、ご利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている				●		<ul style="list-style-type: none"> <li>先まで見据えた計画は行っていないが、最期をどこでどのように迎えたかは、ご本人やご家族の意向を聞いている。</li> <li>「未来志向型」の計画がどのような計画なのかわからないが、主治医とその都度情報交換しながらご利用者、ご家族も含めて今後の変化を予測して計画している。</li> <li>されている。</li> </ul>	
(2) ご利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント (原文ママ)	外部評価 コメント (原文ママ)
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、ご利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定する等、柔軟な運営に努めている	●					<ul style="list-style-type: none"> <li>・状態変化に基づき支援内容や訪問時間の調整等を行っている。</li> <li>・緊急コールには迅速に応じ、新たなサービスには可能な限り設定していると思う。</li> </ul>	
継続したモニタリングを通じたご利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、ご利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、介護も看護もモニタリングを行い、変化があった場合はケアマネジャーに相談している。</li> <li>・月末にモニタリング作成しケアマネジャーに提出している。</li> </ul>	
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>									
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門に合ったサービスを提供している。</li> <li>・行われている。</li> </ul>	
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復等の観点から、指導、助言が行われている		●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、報告を受け指導、助言は行っている。</li> <li>・行われている。</li> </ul>	
<b>(4) ご利用者等との情報及び意識の共有</b>									
ご利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、ご利用者等に本サービスが「ご利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿			●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人やご家族には十分に説明を行うもなかなか理解してもらうには難しい。根気強く説明する。</li> </ul>	

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価 コメント (原文ママ)	
			実施状況						コメント (原文ママ)
			5	4	3	2	1		
		って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている						・説明し、承諾を得ているが、本当に理解できているのかと思う時がある。	
ご利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、ご利用者等に十分な説明を行う等、共通の認識を得るための努力がされている			●			・計画を作成した時は細かく説明している。 ・時間をかけてわかりやすく説明をしている。	
	21	ご利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている			●			・ご家族に電話を行ったり、メモ等で残したりするようにしている。 ・出来るだけ行っている。プリントを通じて伝言等をお願いする時もある。	
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>									
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>									
ご利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、ご利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている			●			・ご利用者の変化等はケアマネジャーに連絡するようにしている。 ・ケアマネジャーが作成する前に話し合いをすることが有る。	
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている			●			・計画作成責任者により感じ方が変わる。 ・力量なくできていない。	
定期的なアセスメント	24	サービス担当者会議等の場を通じて、ご利用			●			・他職種が集まることに	



タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価 コメント (原文ママ)	
			実施状況						コメント (原文ママ)
			5	4	3	2	1		
結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供		者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている						より、色々な情報交換ができています。それを参考に目標等を決めることもある。 ・行われている。	
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>									
ご利用者の在宅生活の継続に必要な、ご利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	ご利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている			●			・何のサービスが必要かにより相談するところを決め、依頼をお願いしている。 ・あまりできていない様に思う。	
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際等に、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている		●				・退院前のカンファレンス等、お声がかかれば出席し、スムーズに支援に入れるように努力はしている。 ・入所時、退院時等、必要に応じて他職種によるカンファレンスを行い、入所、退院がスムーズに行えるようにしている。 ・情報の共有は必要なのでできていると思う。担当者会議も行われている。	

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価 コメント (原文ママ)	
			実施状況						コメント (原文ママ)
			5	4	3	2	1		
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域におけるご利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている				●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースに対応しているものの、包括的なサポート体制は整えていない。</li> <li>・大手町自治会や周辺自治会との交流は出来ていると思うが、サポート体制は不十分だと感じる。</li> </ul>	
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>									
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>									
介護・医療連携推進介護の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている			●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の反省を踏まえて、全スタッフが議事録を確認できるようにした。</li> <li>・所長会議の議事録と一緒に回覧したらどうか。</li> <li>・回覧後、必要時に見られるようファイル保存している。</li> </ul>	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・本サービスの連絡会等で周知活動を行っている。サービスが開始され数年経ち、少しずつだが周知できているのではと感じる。</li> <li>・自治会行事参加やチラシ配布。</li> </ul>	

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント (原文ママ)	外部評価 コメント (原文ママ)
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
							・周辺清掃等で広報周知が行われていると思う。		
<b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>									
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している				●	・スタッフ全員に説明等行っておらず、理解していないと思う。 ・よく理解できていないが勉強していきます。		
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		●			・可能な限り受け入れを行っている。 ・いつでも前向きに検討していると思う。		
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている				●	・現状を維持することに精一杯であり、活動には至っていない。 ・行われている。		
<b>Ⅲ 結果評価 (Outcome)</b>									
サービス導入後のご利用者の変化	33	サービスの導入により、ご利用者ごとの計画目標の達成が図られている				●	・ご利用者によって程度は異なるものの、達成はできていると思う。 ・関係部署の連携で行われている。		
在宅生活の継続に対す	34	サービスの導入により、ご利用者等において、		●			・必ず支援に入り、特変や		

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価 コメント (原文ママ)	
			実施状況						コメント (原文ママ)
			5	4	3	2	1		
る安心感		在宅生活の継続に対する安心感が得られている					<p>緊急時にも直ぐに対応する様心がけているため、ご利用者も安心した在宅生活を送っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬が確実に内服できることで病状や状態が落ち着いていると考えられる。</li> <li>・定期的に巡回し、随時コール対応しているので、安心して頂いていると思う。</li> </ul>		